

わたしたちが創る 笑顔がいっぱい いわてまち

# 報 いわてまち

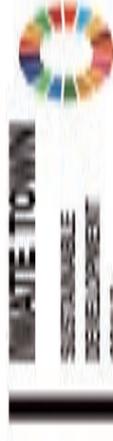
2022

4

令和4年

No.754

Iwate-machi Monthly Public Relations Paper



## 五輪の夢を繋いで

主な内容

町民栄誉表彰式が開催・・・2～3分  
令和4年度施政方針・・・4～7分

# 田中海渡さん

東京2020五輪ホッケー女子日本代表

# 及川 栞さん

# 瀬川真帆さん

# 町民栄誉賞授与

東京2020五輪ホッケー日本代表として、町技ホッケーを通じて町勢の発展に多大な貢献をした田中海渡さん(26) 一方井中出身、及川栞さん(33) 沼宮内中出身、瀬川真帆さん(25) 川口中出身の3人に2月26日、「町民栄誉賞」が贈られました。

町は2月26日、東京2020五輪に出場し、町技ホッケーを通じて町の皆さんに夢と希望、感動を与えた功績をたたえ、ホッケー競技男子日本代表「サムライジャパン」の田中海渡さん(26) 一方井出身、女子日本代表「さくらジャパン」の及川栞さん(33) 沼宮内出身、瀬川真帆さん(25) 川口中出身の3人に町民栄誉賞を贈りました。

授与式は岩手広域交流センター・プラザあいで開催され、町の関係者やホッケー関係者など約20人が出席。佐々木光

司町長は「3選手はたゆまぬ努力を続け、ホッケーの町・岩手町の名声を全国に高め、町の皆さんに夢と希望を与えていただきました。この度の東京五輪の出場を機に、さらに心技体を磨き、日本代表として今後も世界の舞台で大いに活躍されることを期待し、町民栄誉賞を贈ります」と述べ、賞状とトロフィー、報奨金を3人に手渡しました。



①佐々木町長から賞状を授与される及川栞さん ②トロフィーを受け取る瀬川真帆さん ③町民栄誉賞授与式と出場報告会の様子はオンラインで同時配信された



東京五輪に3選手が出場したことを記念して町ホッケー場付近に栄光の樹が植樹された(令和3年10月) 町技のホッケーの発展と3人に続く五輪選手の誕生を祈り、未来を担う子どもたちと共に育てられる

た。サポートしてくれた家族に感謝したいです。岩手町から世界で活躍するようにならち、良い影響を与えられるようこれからも頑張りたいです」と感謝と抱負を述べました。

町民栄誉賞は、平成5年のプロゴルフアール日蔭温子さん(67) 大坊出身、平成20年に町初の五輪選手として北京五輪に出場した早野みさきさん(36) 相賀出身、平成24年にロンドン五輪に出場した

田中泉樹さん(29) 一方井に続き、今回で計6人が受賞。式典後には、東京五輪出場報告会が行われ、3選手の活躍や五輪出場の思い出をスライドで振り返るトークショーが行われました。

## 瀬川真帆さん

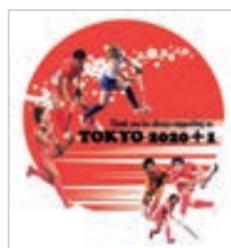
【プロフィール】 せがわ・まほ (25歳)。川口中出身。川口小でホッケーを始め、川口中、沼宮内高を経て、実業団のソニーに所属した。沼宮内高3年時の2014年には同校35年ぶりのインターハイ優勝に貢献。日本代表としても活躍の幅を広げ、2018年のアジア大会優勝に貢献した。現在は東京ヴェルディに所属。東京2020五輪女子ホッケー日本代表「さくらジャパン」に選出。東京2020五輪ではMFで全試合に出場し、日本チームの活躍に大きく経験した。

## 及川 栞さん

【プロフィール】 おいかわ・しほり (33歳)。沼宮内中出身。幼少期からホッケーを始め、沼宮内小、沼宮内中、不来方高を経て、天理大学へと進学。大学卒業後は実業団のソニーの主力選手として活躍し、オランダのHCオレンジレッドなどを経て、現在は東京ヴェルディに所属。2018年のアジア大会では日本の優勝に貢献し、アジア年間最優秀選手に選ばれた。東京2020五輪女子ホッケー日本代表「さくらジャパン」に選出。同大会ではDFで全試合に出場し、1ゴールを決めるなど日本チームの活躍に大きく貢献した。

## 田中海渡さん

【プロフィール】 たなか・かいと (26歳)。一方井中出身。一方井小でホッケーを始め、一方井中、天理高(奈良県)、天理大学へと進学。世代別の日本代表に中学時代から選出され、2018年のアジア大会では、日本男子の初優勝に貢献。2018、2019年は地元のホッケーチーム・岩手クラブで選手として活躍後、実業団の表示灯フラーテル(愛知県)に所属。東京2020五輪男子ホッケー日本代表「サムライジャパン」に選出。東京2020五輪ではMFとして4試合に出場し、日本チームの活躍に大きく貢献した。



▲瀬川真帆さんがデザインした応援への感謝の思いが綴られたノートを表紙



▲3選手の東京2020五輪出場記念のノートが学校を通じて町内の子どもたちへ贈呈された



トークショーでは、3人から提供された東京2020五輪期間中の写真を投影オリンピックという大舞台での経験や選手村でのエピソードも披露された



3月3日から16日にかけて開かれた令和4年第1回議会定例会では、主要7施策の基本目標に基づき新年度の運営方針などが審議された。

# 「わたしたちが創る笑顔がいつばいいわてまち」 令和4年第1回町議会定例会

第1回町議会定例会は3月3日から16日まで開かれました。議会初日の3日、佐々木光司町長は活力に満ちた持続可能なまちづくりを目指し、7つの主な目標を基本とした町政運営方針を力強く述べました。

## 挑戦するまちづくりへ 確かな歩みを進める



### 令和4年度 施政方針 (要約版)



第1回定例会で施政方針を力強く述べる佐々木光司町長

#### 町政運営の視点

令和3年度は「わたしたちが創る笑顔がいつばいいわてまち」を10年後の町の将来像に掲げる、新しい町総合計画のスタートの年でもありました。この計画では、すべての施策を行う上で「地域への愛着、誇りの醸成」「まちのブランド化」「持続可能性の追求」という3つの視点を取り入れることとしています。

特に若い世代から「選ばれらるまち」になるため、子育て支援や教育分野に力を注ぐとともに、あらゆる世代の人たちが生き生きと暮らすことができるまちづくり、そして「これからも岩手町に住み続けたい。岩手町に住んで良かった」と町の皆さんが誇れる、夢のあるまちづくりを

#### 目指します。

令和4年度は、町総合計画と連動する町SDGs未来都市計画を推進するとともに、人口減少の中でも、地域で大切に育んできた文化や伝統の灯を次の世代が引き継ぐことができるよう、人と人とのつながりを大切にしながら、「地元学」の振興に努め、各分野の施策に取り組みます。

以下、令和4年度の主な施策の概要について、総合計画に掲げる7つの基本目標ごとに説明します。

#### 「住むひと・来るひと」 みんなで創るまち

町内外を問わず大勢の人との関係を築き、住む人はもとより町に関係する誰もが、さまざまな形でまちづくりに関わる「共創のまちづくり」を進めます。

#### (主体的な住民活動支援)

昨年度から取り組み始めた「リビングラボ」。町の皆様をはじめ、町内外の企業や有識者など関係者のご理解、ご協力をいただき、各分野でプロジェクトを立ち上げていきます。

今後も、農業による関係人口の創出や森林の保全と地産材の活用、多世代交流やスポーツを通じた健康づくりなどの取り組みを推進し、活動が展開できるよう努めます。

また、大学生や高校生と連携した事業を展開し、相互理解を深め、世代を越えて「対話」を促す事業に取り組みます。

(広報・広聴の充実)「広報いわてまち」の魅力ある紙面づくり、本年度はホームページのリニューアルに取り組みます。

#### 改装などの支援を行います。

さらに、岩手町商工会と共に、魅力的な中小・小規模事業者の振興を図ります。

#### (起業支援)

起業塾を開催するなど、新たな価値を創出する起業者を支援します。また、起業、創業などの活動の場や地域課題解決の活動の場として、旧東北電力沼宮内サービスセンターを新たに「岩手町フューチャーセンター」として整備し、地域経済循環の創出を図ります。

#### (雇用拡大策の充実)

若年者雇用奨励制度や新規雇用等研修費補助制度を引き続き実施し、小規模事業者における従業員研修や、資格取得など人材育成の支援を行います。また、町内企業や事業所に対する理解と就業意識の醸成を図ります。

#### (稼ぐ仕組みの確立)

消費者のニーズに合う、新たな産品開発を進めるとともに、町のブランドとしての魅力を高めるために、地元産品の付加価値化を進めます。新しい発見・アイデアを探しながら6次産業化を推進し、公民連携や産学官連携による販路拡大や新規市場開拓に取り組むなど、地域経済の活性化と「稼ぐ仕組み」づくりを推進します。町内に誘致した大規模養鶏場なども連携し、新たな地域活力の創造も目指します。

また、町の皆様の活躍など、さまざまな情報を広く町内外にお知らせします。懇談会などの従来の取り組みを継続し、行政と町の皆さんが直接語り合う機会を創り出し、「町民が主役のまちづくり」を進めます。

#### (関係人口の拡大と空き家対策)

ホームページやSNSなどインターネットを用いた情報発信力を高めます。また、地域おこし協力隊事業や起業創業支援事業を充実させながら、移住コワーキングスペースを中心とした「移住・定住」のための施策を推進。「岩手町空き家バンク」や「空き家住宅取得支援事業」の実施と併せ、関係人口の拡大を図りな

がら、ワーケーションや2拠点居住など、町が持つポテンシャルを引き出す施策を進めます。

#### (地域公共交通の推進)

運行圏の拡充を検討しながら、あいあいバスやあいあいタクシーの利便性の向上に努め、町の皆様や来町者が利用しやすい公共交通を目指します。

#### また、利用実態に合わせて適切な運行方法を選択し、持続可能な公共交通の確保を図ります。

#### (多彩な産業振興で未来を拓くまち)

(畜産産業の振興) 町の地域特性を生かした水稲、園芸、畜産、葉たばこ、薬用作物などを複合的に組み合わせた「岩手町型農

業」のさらなる発展を目指す、それぞれの経営に合わせた支援を継続し、生産基盤の安定と収益性の向上を図ります。認定農業者など大規模な担い手農家には、国や県の補助事業を活用し、生産機械や施設整備の導入を進め、経営基盤の安定、収益性の向上と大規模経営体の法人化の支援を推進します。中小規模農家には、経営基盤の安定、営農継続の支援や、品目ごとに省力化機械、生産用資材購入への支援を継続します。

そして、持続可能な食料システムの構築に向けて、生分解マルチ導入の推進や、ICTやロボット、AIを活用したスマート農業の普及、「耕畜連携」による環境保全型農業の一層の深化などに取り組みます。

また、農地中間管理事業を活用し、経営規模の拡大を目指す担い手農家への農地集積を引き続き実施。地域の共同活動への支援を行い、地域資源の保全管理を推進します。

さらに、農作物被害を防止するため、電気柵設置費用を助成するなどの支援を継続。鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の捕獲、駆除などを行い、実施隊員と狩猟者の確保育成を図ります。

#### (林業の振興)

民有林などの森林経営管理の維持向上を図るた

め、町内全域の航空レーザー測量の結果を基に、森林資源情報管理システムの本格稼働に併せて、森林所有者や林業経営体と情報を共有し、適切な民有林の経営管理を促進するため、民有林整備事業の町のかさ上げ補助を継続します。

また、公益機能に配慮した多様な森林づくりを推進するため、民有林整備支援のほか、林道作業道などの整備を図ります。木材利用促進では、建築物の木材・木質化を推進し、町産材利用並びに定住促進、住環境の整備促進を図るため、新築および増改築する場合の建築費用の一部を支援します。

#### (農林業の担い手と労働力の確保)

制度創設以来、農業11名、林業1名の新規就業などの活用があることから、今後も新規就業者の育成確保に向けて、事業の展開を図り、農林業従事者などの支援を行います。

#### (観光の振興)

いわて沼宮内駅の新幹線開業から20年の節目を迎え、道の駅「石神の丘」も開業20周年を迎えます。石神の丘美術館や岩手町秋まつりやクラフト市のイベントを既存の観光資源と関連付け、交流人口の拡大を図ります。

#### (商工業の振興)

将来につながる人材育成や事業継承、店舗

【ひとと文化を大切に】

【国際交流の推進】

東京オリピックで絆を深めることができたアイルランドとの交流につきましては、大使館を通じて今後の交流計画を進めます。また中高生の訪問交流を進め、さらに様々な分野へ交流を広げます。

【文化・芸術の振興】

昨年グランドリニューアルオープンした石神の丘美術館は、多くの来館者でにぎわいを見せました。道の駅「石神の丘」と連携したイベントなどを企画・実施し、来年7月の開館30周年に向け、さらなる魅力の向上を図ります。

【幸せと笑顔があふれる】

健康福祉のまち 誰もが健やかに、自分らしく暮らせるように、保健、医療、福祉、そして子育て環境の充実を図り、全世代にわたる町の皆様が生き生きと安心して暮らせる健康福祉のまちづくりに取り組みます。

【地域福祉の実現】

福祉の担い手の育成や住民の福祉活動への参画を促しながら、安心して暮らせる共生社会の実現を目指し、関係機関との情報共有および連携に努めます。

また、社会的に孤立している人や経済困窮者などの早期発見に努め、適切な支援につなげます。

（道路・橋梁・河川の整備）道路は、住民の生活や経済・社会活動を支える最も重要な基盤であり、町の皆様の安全で安心な生活を確保するため、引き続き効率的に町道の整備を進めるほか、歩行者が安心して通行できる歩行空間の確保と、車両交通の利便性の向上を目的とした道路環境の整備に努めます。

【下水道の整備】

下水道事業は、将来の経営を見据えた料金の見直しを行い、持続可能な経

営を指します。水堀地区、野原地区などの老朽管更新工事を継続し、安全・安心な水道供給に努めます。大袋地区などの汚水管整備工事を継続し、供用区域の拡大を図ります。

【健康づくりの推進】

健康は自分で守る」という意識の向上を目指しつつ、生活習慣病の予防と早期発見・早期治療に向けて、各種健診体制の充実を図ります。また、望ましい生活習慣の形成に向け、食育を推進します。自殺予防については、関係機関と連携し、地域の身近なところで気付きと声掛けができるよう、ゲートキーパーの養成に努めます。

【子育て支援の充実】

町独自の子育て世帯の支援策として、おむつやミルクの購入助成などを引き続き行うとともに、本年度には「子育て応援パスポート事業」のサービスを開始し、支援メニューの充実を図ります。

【医療体制の充実】

県や町内医療機関などと連携し、引き続き「岩手町型在宅医療体制」の体制構築に向けて取り組むとともに、小児科や産科の誘致にも継続し

【住宅環境の整備】

町営住宅につきましては、新たに策定した公営住宅長寿寿命化計画に基づき、計画的な施設の長寿寿命化や居住性の向上を進めます。また、住民の憩いの場となる公園や町が供給する新たな住宅団地につ

て、将来的な整備を見据え、住民の意識調査に取り組みます。

【自然が共存する】

美しい自然と共存するまちを次世代に継承していくために、長期的・総合的視点に立って計画的なごみ処理の推進を図るとともに、快適な生活環境を維持・向上していくための施策を進めます。また、SDGsにも貢献する省エネルギーの促進とともに、エネルギーの効率的利用にも取り組みます。

【廃棄物処理体制の強化】

ごみの減量化やリサイクル率の向上に努め、町の一般廃棄物最終処分場の延命化などの調査研究に取り組みます。町のプラスチックごみの処理や再利用、ごみの広域処理に関する協議・検討を進めます。

【資源エネルギーの活用】

地球温暖化の防止の見地などから、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す国の方針と合わせた施策を検討します。SDGs未来都市として、エネルギー情勢の変化を的確に捉え、地域特性を踏まえたエネルギーのあり方について調査研究を進めます。

【次世代につなぐ】

地域経営のまち 多様化・高度化する行政二

【国保・後期高齢者医療の充実】

事業の健全運営に努めるほか、国に対しては、財政措置の強化をさらに要望します。

【障がい者福祉の充実】

関係機関と連携して、サービス提供事業の確保や、提供サービスの質の向上を含めた支援体制の充実を図ります。また、相談支援事業者と連携を深め、障がいやニーズに対応できる支援体制を強化しながら、障がい者などの社会参加を推進します。

【高齢者福祉・介護支援の充実】

地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムの、より一層の深化・推進を図り、高齢者が自立し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう在宅福祉サービスの提供を行います。「岩手町安心生活ネットワーク事業」のさらなる拡充・推進を図るとともに、老人クラブ活動、健康いきいきサロンや高齢者学級など、交流の場の提供に取り組み、シルバー人材センターへの支援も継続します。

【安全で安心して】

介護保険事業の適切な運営を支援し、高齢者の多様なニーズに対応できるよう、地域支援事業及び介護予防事業等の充実を図ります。また「認知症初期集中支援チーム」による認知症の早期診断・早期対応に力を注ぎ、

防犯対策としては、地域や学校、発活動に取組みます。また、防犯対策としては、地域や学校、関係機関が一体となり、登下校の見守り活動や防犯パトロールなどを行うとともに、特殊詐欺被害の発生防止を図るため、高齢者向け講習会の実施などに取組みます。

【安全で安心して】

防災計画につきましては、国の防災体制の変化や災害対策基本法の一部改正などにより、引き続き見直しを進めます。災害が心配される地域で防災研修会を開催するほか、避難行動要支援者などの個別避難行動計画の策定支援などを通じて防災意識の向上を図ります。また企業など

【安全で安心して】

の将来像に掲げましたが、これは、町民憲章の理念にも深く通じるものです。

【安全で安心して】

近年は、人口減少や少子高齢化、地球規模に広がる環境問題、未曾有の自然災害や未知のウイルスの脅威など、さまざまな困難な状況や課題に直面してきました。こうした中であっても、町の皆様の思いを重ね、町は、常に未来に向かって確かな歩みを進めていかなければなりません。町政運営にあたり、町民憲章の理念を基に、総合計画やSDGs未来都市計画に掲げた施策に取り組み、岩手町の人、風土、自然、伝統などの地域の宝を守り育て、笑顔があふれる岩手町を、次の世代に引き継ぎたいという思いを改めて強くしているところでです。

【安全で安心して】

変化が激しく、厳しい環境の時代だからこそ、誰もが思いやりを持って優しくつながり、お互いが支え合っていることを実感できる「まちづくり」が大切です。そして、その「まちづくり」には、何よりも「ひとづくり」が大切です。

【安全で安心して】

今後も、町の強みを生かした施策を積極的かつ着実に進め、既成概念にとらわれない柔軟な発想をもって諸事業に取り組み、活力に満ちた持続可能な岩手町の未来を創造します。



旧東北電力沼宮内サービスセンターを「町フューチャーセンター」として整備。起業・創業などの地域活動、地域課題の解決の場として活用が見込まれます

認知症の理解を深めるための普及啓発を行い、適切な医療・介護などの提供により、認知症の人や介護者への支援などに努めます。

【安全で安心して】

【安全で安心して】

と連携した防災協定の締結を進めるとともに、地域防災の中核を担う消防団の装備充実を進め、活動体制の強化を図ります。

【安全で安心して】

児童生徒並びに高齢者の交通安全対策を重点に、各種交通安全教室や講習会の実施など、生涯を通じての交通安全教育、啓発活動に取組みます。また、防犯対策としては、地域や学校、関係機関が一体となり、登下校の見守り活動や防犯パトロールなどを行うとともに、特殊詐欺被害の発生防止を図るため、高齢者向け講習会の実施などに取組みます。

【安全で安心して】

行政サービスのさらなる向上につなげるために、自治体DXも推進します。

【安全で安心して】

「わたくしたちは、このまちの町民であることに誇りを持ち、よりよいまちの創造と、おたがいのおしあわせをねがい、りっぱな町民となるため、ここに町民憲章をさだめます。」これは、昭和50年に制定された岩手町民憲章の原文の一節です。町総合計画では、「わたくしたちが創る笑顔がいつばいいわてまち」を町

【安全で安心して】

の将来像に掲げましたが、これは、町民憲章の理念にも深く通じるものです。

【安全で安心して】

近年は、人口減少や少子高齢化、地球規模に広がる環境問題、未曾有の自然災害や未知のウイルスの脅威など、さまざまな困難な状況や課題に直面してきました。こうした中であっても、町の皆様の思いを重ね、町は、常に未来に向かって確かな歩みを進めていかなければなりません。町政運営にあたり、町民憲章の理念を基に、総合計画やSDGs未来都市計画に掲げた施策に取り組み、岩手町の人、風土、自然、伝統などの地域の宝を守り育て、笑顔があふれる岩手町を、次の世代に引き継ぎたいという思いを改めて強くしているところでです。

【安全で安心して】

変化が激しく、厳しい環境の時代だからこそ、誰もが思いやりを持って優しくつながり、お互いが支え合っていることを実感できる「まちづくり」が大切です。そして、その「まちづくり」には、何よりも「ひとづくり」が大切です。

【安全で安心して】

今後も、町の強みを生かした施策を積極的かつ着実に進め、既成概念にとらわれない柔軟な発想をもって諸事業に取り組み、活力に満ちた持続可能な岩手町の未来を創造します。

# 岩手町長選挙 選挙期日が 決まりました

## 岩手町長選挙

告示日 5月17日(火)  
投開票日 5月22日(日)

任期満了に伴う岩手町長選挙の日程が2月9日、町選挙管理委員会で決定されました。町長選挙は、告示日が令和4年5月17日(火)で、投開票日は5月22日(日)です。

## 立候補予定者説明会

開催日 4月15日(金)  
時間 午後1時30分～  
場所 役場 議会委員会室

岩手町長選挙の立候補予定者説明会が4月15日(金)に開催されます。立候補届出書類の配布や記載方法が説明されますので、立候補を予定している人や立候補予定者の代理人はご出席ください。

問 町選挙管理委員会事務局  
☎62-2111(内線204)



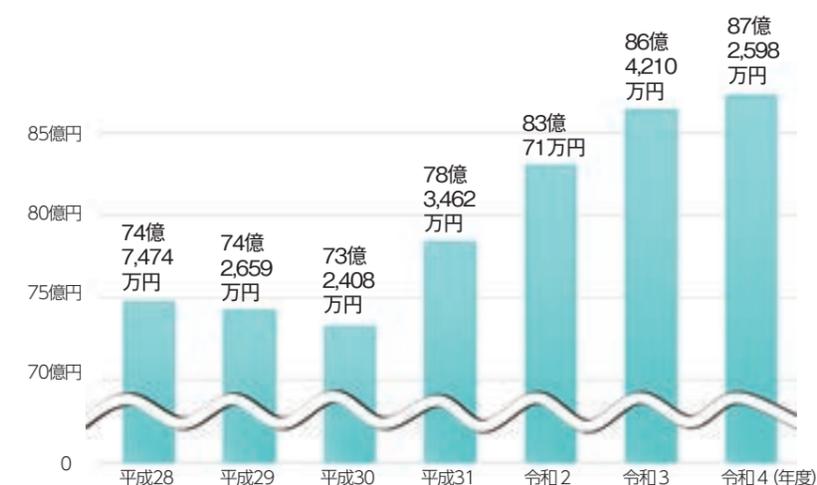
一人一人の大切な一票がまちの未来をつくります

# 令和4年度予算のあらまし

表1 令和4年度 会計別予算額

会計名	予算額	説明
一般会計	87億2,598万円	特別会計を除く全般的な経費
特別会計		
国民健康保険特別会計	15億5,422万円	国民健康保険に係る経費
後期高齢者医療特別会計	1億5,483万円	後期高齢者の医療に係る経費
戸別浄化槽事業特別会計	4,125万円	戸別浄化槽の設置に係る経費
企業会計		
下水道事業会計	4億7,090万円	下水道に係る経費
水道事業会計	5億4,990万円	上水道に係る経費
合計	114億9,708万円	岩手町全体の予算額

図2 一般会計当初予算額の推移



## 町民1人当たりの歳出予算額 およそ 70万4,503円

- 民生費 ……約15万4,285円
- 総務費 ……約10万8,066円
- 教育費 ……約10万3,852円
- 衛生費 ……約8万7,519円
- 公債費 ……約7万4,240円
- 土木費 ……約7万3,333円
- 農林水産業費 ……約4万508円
- 消防費 ……約3万2,798円
- その他 ……約2万9,902円

※人口12,386人(令和4年2月末現在)で算出

## 一般・特別会計

# 予算

新たな時代に対応したまちづくりのため第1回町議会定例会で可決された総額114億9,708万円に上る一般、特別両会計の令和4年度当初予算のあらましを紹介します。(予算額は万円未満切り捨て。本文中の数字は洋数字で表しています)

図1 令和4年度 一般会計の歳入・歳出

町税	諸収入	地方交付税	町債	国庫支出金	県支出金	地方譲与税	その他
16億2,373万円	5億7,957万円	34億297万円	12億1,524万円	9億6,842万円	4億8,869万円	1億3,180万円	3億1,554万円
18.6%	6.7%	39.0%	13.9%	11.1%	5.6%	1.5%	3.6%

■自主財源 ■依存財源

歳入合計 87億2,598万円

歳出合計 87億2,598万円

民生費	総務費	教育費	衛生費	公債費	土木費	農林水産業費	消防費	その他
19億1,098万円	13億3,851万円	12億8,632万円	10億8,401万円	9億1,954万円	9億831万円	5億173万円	4億623万円	2億7,036万円
21.9%	15.3%	14.7%	12.4%	10.5%	10.4%	5.8%	4.7%	4.3%

できるような国が各自治体に国税の一定割合を交付するお金(地方交付税)や、国や県などからの補助金、町の借金に当たる町債などです。自主財源の比率が大きいかどうか財政運営の自主性や安定性が高いとされていますが、当町の自主財源比率は、前年度を0.2割下回る25.3割で、依然として厳しい財政状況となっています。

歳出は、予算の使い方を目的別にまとめた図1の下段を見ると、本年度は、住民福祉の向上に使われる民生費が19億1,098万円、予算総額の21.9割を占め歳出のトップ。次いで、全般的な管理事務

に關する経費に使われる総務費が13億3,851万円、教育委員会、小中学校や生涯学習活動に要する経費に使われる教育費が12億8,632万円などの順になっています。また、性質別では、物件費、普通建設事業費、人件費の順になっています。

特別会計等(表1中段)は、町が特定の事業を行うための一般会計とは別に収支経理を行う必要があるとくに設けられる会計です。町の特別会計等は、国民健康保険、後期高齢者医療、戸別浄化槽、下水道事業、水道事業の5つ。本年度の特別会計等予算の総額は27億7,110万円です。

一般会計の総額は87億円  
自主財源の比率は25%に

一般会計は私たちの生活に最も身近な予算です。総額は歳入、歳出ともに87億2,598万円、前年度を83,888万円(0.9

割)上回っています。歳入(図1上段)は、その性質により自主財源と依存財源に分かれます。自主財源は、町税などが独自で集めることができるものです。依存財源は、地方自治が適切に運営



農業体験の授業でサツマイモの掘り起こしを体験した一方井小の子どもたち(昨年9月) 町は子どもたちが明るい未来を歩むことができるよう地域に根差した施策を推進します

### ICTまちづくり推進事業

126万円

令和2年4月以降に光回線に加入した町内の各世帯や事業者へ、回線工事やICTに関連する機器を導入した際に、町から支援を行います。



### 野菜価格補完制度事業

1,500万円

系統出荷している生産者の安定出荷を図るため、生産者とJA、町が基金を造成し、キャベツやレタスの出荷額が交付基準額を下回った際に価格を補完します。



### 中小規模農家 営農継続支援事業

1,360万円

中小規模農家の経営基盤の安定と営農継続を図るため、品目ごとに資機材などの購入に対して支援を行います。



### 新規 フューチャーセンター 整備事業

1億2,813万円

旧東北電力沼宮内サービスセンター跡地に持続可能なまちづくりのための起業・創業支援や地域課題の解決に向けた町民参加のまちづくりの場を整備します。



### 拡充 わたしたちが創る まちづくり補助事業

244万円

地域の課題解決に向けて、創意工夫して取り組むまちづくり活動に補助を行い、未来へ向けた魅力的なまちづくりを目指します。



### 林業新規就業 総合支援事業

393万円

林業新規就業者の確保を目的に、移住を含めた林業の担い手に生活費や資機材導入費、研修費用などを支援します。



### 農畜産業新規就農 総合支援事業

1,133万円

農業を新しく始める新規就農者に①自営型、②雇成型、③親元型の3タイプに応じた支援を最長3年間行います。



### 地方創生推進事業

7,173万円

リビングラボによる持続発展可能なまちづくりを推進し、産業振興や人材の育成、姉妹都市の推進に取り組み、町全体の活性化を図ります。



### 観光イベント等開催事業

354万円

夏まつり、秋まつりなどのイベント開催を支援し、交流人口増による町の活性化を図ります。



### 農地中間管理事業

4,656万円

農業の担い手への農地集積と集約化を促進します。農地の有効利用や農業経営の効率化を後押しするため、農地集積に対する地域や農業者への支援を行います。



### 農業観光推進事業

300万円

ブルーベリー観光農園や田んぼアート、とうもろこし迷路など、農業を用いた観光の取り組みを行う実行委員会に対して助成を行います。



### ふるさと納税 寄付事業

4,134万円

ふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保と地場産品の開発、全国に向けた町のPRを行います。



# 笑顔いっぱいの未来へ

町づくりの基本構想にあわせて、令和4年度の主要事業を紹介します。

## 基本構想

まちの将来像

# わたしたちが創る 笑顔がいっぱい いわてまち

まちづくりの手法

### 地域への愛着・誇りの醸成

シビックプライド

### まちのブランド化

ブランディング

### 持続可能性の追求

SDGsの取り組み

#### ①住むひと・来るひとみんなで創るまち

主体的な住民活動支援や関係人口の拡大、空き家対策や地域公共交通の充実を図ります。

#### ②多彩な産業振興で未来を拓くまち

農林畜産業、観光・商工業の振興と稼ぐ仕組みを確立し、雇用の拡大など産業の振興を図ります。

#### ③ひとと文化を大切にする教育のまち

学校での教育やスポーツ、文化芸術などの社会教育を推進し、国際交流の振興を図ります。

#### ④幸せと笑顔があふれる健康福祉のまち

地域福祉や子育て支援の充実、健康づくりを通じて笑顔あふれるまちを目指します。

#### ⑤安全で安心して住み続けられるまち

消防・防災体制を強化し、道路や河川整備水道などの住環境整備を推進します。

#### ⑥ひとと自然が共存する持続可能なまち

ごみの減量化や資源エネルギーの有効活用を図り、自然豊かなまちとしての未来を創造します。

#### ⑦次世代につなぐ地域経営のまち

行財政の健全化を推進し、まちの資産を有効活用しながら情報社会への対応を図ります。

### ごみ処理事業

1億9,195万円

適正な処理によるごみの減量と資源化を進め、排出される家庭ごみを分類し、分別収集運搬を行います。また中間処理施設での焼却や資源化の処理費を負担します。



### 道路改良事業

4億2,664万円

雪浦線、沼宮内一方井線、黒内線、北上線、大渡子九十線、白樫大渡線、石神下太田線、野原滝線、大宮通り線、五日市西線などの道路改良事業を行います。



### 国民健康保険事業

15億5,422万円

国民健康保険は、加入者の皆さんが健康保険税を負担し合い、病院にかかるときの医療費に当てる支え合いの制度です。病院などで受診した医療費の7割を負担します。



### 高齢者等にやさしい 住まいづくり補助事業

120万円

在宅で援護が必要なお年寄りや重度障害のある人が、安心して生活できる住宅環境を整備するため住宅改善費用の一部を助成します。



### 沼宮内高校魅力化事業

1,559万円

沼宮内高等学校教育振興会への補助金や公営塾の運営、下宿などの環境整備の補助事業により、同校の魅力を高め、活性化を図ります。



### 学校施設整備事業

2億5,022万円

教育環境の安全確保のため、学校施設の補修や施設の維持保全を行います。沼宮内小大規模改修、沼宮内中消火栓配管改修工事などを実施する予定です。



### 開発センター 長寿命化改修事業

2,109万円

老朽化が著しい町総合開発センターを改修し、施設の長寿命化を図ります。



### 上水道施設整備事業

1億7,704万円

安全安心な水を届けるために、設備の点検や老朽化した施設の更新を行います。また、配水管調査を実施し、漏水個所の早期発見、修繕に努めます。



### 医療費助成給付事業

6,860万円

子どもや妊産婦、障がい者などが安心して医療を受けられ、経済的な負担が軽減されるように医療費の自己負担額の一部を助成します。



### 介護予防事業

1,430万円

介護を予防し、より長く在宅で生活できるように運動機能向上など介護予防教室や健康いきいきサロンなどの介護予防事業を実施します。



### ママサポート事業

132万円

妊娠期から就学前時期の母親の不安や負担を軽減するため、オンラインを利用した相談支援体制を整備します。



### 歴史文化館整備事業

3,292万円

空き校舎を利用し、町の歴史と文化の情報発信や学びの場、活動発表の場として多くの人でにぎわう施設をめざし、歴史文化館（仮称）の整備を行います。



### 地域おこし協力隊 活動事業

2,833万円

総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、地域力の維持強化を図るための担い手として地域外から地域おこし協力隊を委嘱します。



### 消防車両購入等事業

2,614万円

取得から28年以上経過して老朽化した消防車を更新します。第4分団の消防ポンプ自動車を更新予定です。



### 精神保健事業

119万円

心の悩みを持つ人などへの個別相談や正しい知識の習得を目的に講演会などを開催し、心豊かな生活のための支援を行います。



### 障がい者地域生活支援事業

2,729万円

障がい者（児）が能力や適性に応じ、自立した日常生活ができるように相談支援や移動支援、地域活動支援センターの運営委託などを通じて支援を行います。



### 健康増進事業

4,630万円

新規事業として、骨粗しょう症予防検診を行い、さらなる検診体制の充実を図り、病気の早期発見、早期治療をめざしていきます。



### 国際交流事業

977万円

東京2020オリンピックで事前キャンプを行ったアイルランドとの交流事業を継続して取り組み、国際交流の推進を図ります。



# 後期高齢者医療制度

## 10月1日から 窓口負担割合に「2割」が加わります！

75歳（一定の障がいがある人は65歳）以上の人が入る「後期高齢者医療制度」。  
現在、後期高齢者医療保険の被保険者が医療機関を受診した場合、医療費の1割または3割を窓口で自己負担することになっていますが、令和4年10月1日から、この自己負担割合に新たに「2割負担」が追加されます。

### 見直しの背景

- ①医療費の増大  
令和4年度以降、団塊の世代が75歳以上となりはじめ、医療費の増大が見込まれています。
- ②後期高齢者の負担拡大  
後期高齢者の医療費のうち、窓口負担を除いて、約4割は現役世代(子や孫)の負担となっており、今後も拡大する見通しとなっています。  
今回の窓口負担割合の見直しは、現役世代の負担を抑え、国民皆保険を未来につないでいくためのものです。

【令和4年9月30日まで】

区分	医療費負担割合
現役並み所得者 <sup>※3</sup>	3割
一般所得者等	1割

【令和4年10月1日から】

区分	医療費負担割合
現役並み所得者 <sup>※3</sup>	3割
一定以上所得のある人	2割
一般所得者等	1割

※住民税非課税世帯の人は基本的に1割負担となります。

### 窓口負担割合が2割になる人には、負担を抑える配慮措置があります

- ・令和4年10月1日の施行後3年間は、2割負担となる人は、1カ月の外来医療の窓口負担割合の引き上げに伴う負担増加額を3,000円までに抑えます。(入院の医療費は対象外)
- ・配慮措置の対象で払い戻しとなる人は、事前に登録されている高額療養費の口座へ後日払い戻します。
- ・2割負担となる人で口座の登録がお済みでない人には、10月中に県後期高齢者医療広域連合から申請書を郵送します。申請書が届いたら振込先口座などを記入し、ご返送ください。

### 【配慮措置が適用される場合の計算方法】

例：1カ月の医療費全体額が50,000円の場合

窓口負担割合1割のとき ①	5,000円
窓口負担割合2割のとき ②	10,000円
負担増 ③(②-①)	5,000円
窓口負担増の上限 ④	3,000円
払い戻し等(③-④)	2,000円

⇒1カ月5,000円の負担増を3,000円までに抑えます。(配慮措置)

### ご注意ください！

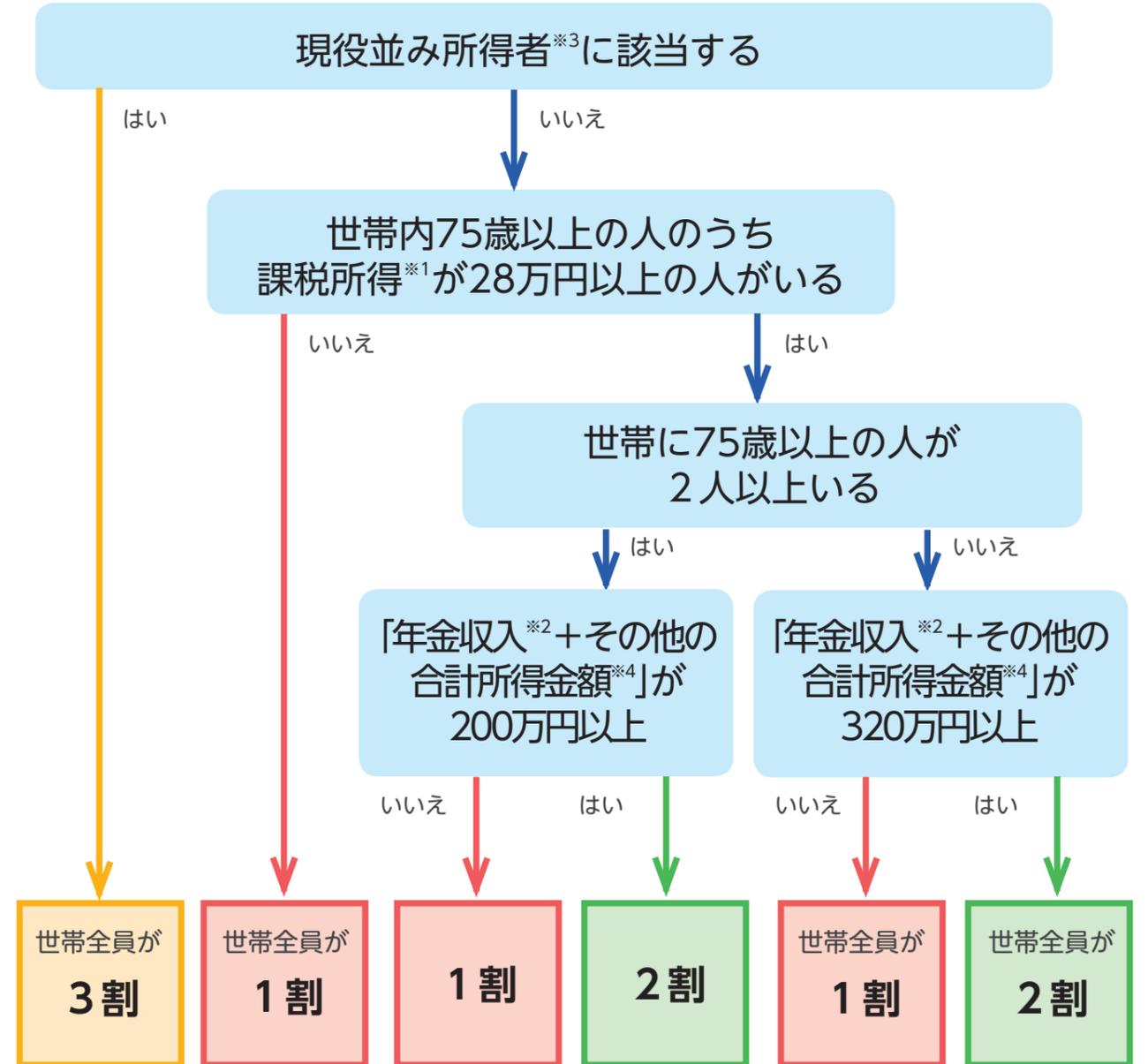
申請書は必ず郵送でお届けします。厚生労働省や役場が電話や訪問で口座情報を聞きだしたり、ATMの操作をお願いすることはありません。

### 【不審な電話や相談があったとき】

- ・岩手県警察本部 ☎019-653-0110
- ・消費生活センター ☎019-624-4111

### 窓口負担割合の判定の流れ

世帯の窓口負担割合が2割の対象となるかどうかは、75歳以上の人の課税所得や年金収入をもとに、世帯で判定します。(令和3年中の収入などを基に判定するため、令和4年8月頃から判定が可能となります。)



※1 「課税所得」とは 住民税納税通知書の「課税標準」の額(前年の収入から、給与所得控除や公的年金等控除、所得控除(基礎控除や社会保険料控除等)などを差し引いた後の金額です。

※2 「年金収入」には遺族年金や障害年金を含みません。

※3 課税所得145万円以上で、医療費の窓口負担割合が3割の人

※4 「その他の合計所得金額」とは 事業収入や給与収入などから必要経費や給与所得控除などを差し引いた後の金額のことです。

### 【後期高齢者医療制度の問い合わせや届出、相談】

- ・厚生労働省コールセンター ☎0120-002-719 (月~土、午前9時~午後6時)をご利用ください。
- ・県後期高齢者医療広域連合 業務課 ☎019-606-7501
- ・町民課国保年金係 ☎62-2111 (内線502、508、509)

# 町職員人事異動

令和4年度

町は3月24日、職員的人事異動を内示しました(4月1日発令)。今回は41人(新採用5人含む)が異動。管理職を含む7人が退職しました。

※( )内は前任課と職名

## 〔総務課〕

▽課長補佐(併) 選管書記 次長(企画商工課企画広報係長) 高橋宗介 ▽財政係長(建設課都市住宅係長) 佐藤巨 ▽防災交通係長(農林課主査) 山中寿行 ▽主事(新採用) 村上依路

## 〔企画商工課〕

▽課長補佐兼情報推進係長(総務課長補佐(併) 選管書記次長) 阿部陽子 ▽企画広報係長(農林課農業振興係長) 藤沢祐介 ▽商工観光係長(総務課防災交通係長) 高橋良美 ▽主事(新採用) 田中泉樹

## 〔みらい創造課〕

▽政策推進係長(総務課財政係長) 阿部智光 ▽副主任(税務会計課主事) 藤村友紀

## 〔町民課〕

▽主査(税務会計課主査) 八戸美和子 ▽副主任(岩手県後期高齢者医療広域連合) 千葉智宏

## 〔健康福祉課〕

▽課長補佐(農業委員会事務局農地利用係長) 久保栄司 ▽主事補(町民課主事補) 高橋良輔

## 〔長寿介護課〕

▽課長(兼) 老人福祉センター所長(兼) 水堀いきが交流センター所長(兼) 地域包括支援センター所長(主幹兼企画商工課長補佐) 本田桂一 ▽副主任(総務課副主任) 河野亜衣

## 〔税務会計課〕

▽課長補佐兼収納係長(教育委員会事務局社会教育課長補佐) 大沢直樹 ▽主査(企画商工課主査) 平野祐

子 ▽副主任(みらい創造課副主任) 滝川美貴子 ▽主事補(新採用) 西田こずえ

## 〔農林課〕

▽課長補佐兼農村整備係長(企画商工課商工観光係長) 佐藤博光 ▽農業振興係長(教育委員会事務局学校教育課学校教育係長兼学校給食センター係長) 立花裕 ▽主事(税務会計課主事補) 沢瀬直樹 ▽主事(新採用) 伊藤光佑

## 〔農業委員会事務局〕

▽農地利用係長(農業委員会事務局主査) 千葉優子 ▽主事(建設課主事) 藤川翔太郎

## 〔建設課〕

▽課長(教育委員会事務局社会教育課長) 工藤晋 ▽都市住宅係長(建設課主任) 佐々木一馬 ▽主任(新採用) 坂本雄児

## 〔水道事業所〕

▽所長(税務会計課長補佐兼収納係長) 田中盛夫

## 〔教育委員会事務局〕

◇学校教育課 ▽課長兼学校給食センター所長(水道事業所長) 井上祐司 ▽学校教育係長兼学校給食センター係長(町民課主任) 丹内真子

## ◇学校用務員

▽沼宮内小学校用務員(川口中学校用務員) 高橋祐介

## ◇社会教育課

▽課長(農林課長補佐兼農村整備係長) 西島寿紀 ▽課長補佐(社会教育課社会教育係長) 高橋昭子 ▽社会教育係長(長寿介護課主任) 早坂真奈美

## 〔中央公民館・図書館〕

▽主任(健康福祉課主任) 大沢季子

## 〔3月31日付け退職者〕

▽田村寿(長寿介護課長(兼)老人福祉センター所長(兼)水堀いきが交流センター所長(兼)地域包括支援センター所長) ▽佐藤竜也(建設課長) ▽早坂真由美(教育委員会事務局学校教育課長兼学校給食センター所長) ▽山本博幸(健康福祉課長補佐) ▽田村真一(総務課主査) ▽畑中功(中央公民館・図書館主任) ▽千葉国男(沼宮内中学校用務員) ▽再任用 ▽健康福祉課主査 早坂真由美 ▽教育委員会事務局学校教育課主査 田村寿 ▽建設課主査 佐藤竜也 ▽健康福祉課主査 山本博幸 ▽沼宮内中学校用務員 千葉国男



## 小児用新型コロナウイルスワクチン接種

# 家族で接種について話し合しましょう！

町新型コロナウイルスワクチン接種班 ☎62-2111 (内線222、229)

## 5歳から11歳までのお子さんも新型コロナワクチンの接種を受けられるようになりました。

なお、この接種は予防接種法上の努力義務は適用されません。また、接種を望まない人に強制することはありません。接種券に同封する各種お知らせやインターネットの情報をご覧の上、お子さんとご家族でメリット(発症予防)とデメリット(副反応)について話し合った上で、「接種する」「接種しない」を決めてください。

### ・接種対象者

#### 接種日時点で、5歳以上11歳以下の子ども

対象者に接種券を発送していますが、新たに5歳になるお子さんには、誕生日の月末に接種券を発送します。接種を希望する人は、事前の予約が必要です。具体的な方法は、接種券同封チラシやホームページでご確認ください。

### ・使用するワクチン

#### 小児用ファイザー社ワクチン(12歳以上のものと比べ、有効成分が1/3になっています)

このワクチン接種は2回接種が必要です。2回目接種のご予約は、1回目を接種した際に医療機関で行います。11歳以下と12歳以上では、接種するワクチンの種類も量も異なります。

1回目接種後に12歳の誕生日を迎えても、1回目と同じ5～11歳以上のワクチンを接種しますので、できるだけ12歳を迎える前に1回目の接種を済ませるようにしましょう。

### ・接種医療機関

お子さんの年齢により接種できる医療機関が異なります。ただし、対象のお子さんが複数いる場合には、一番年齢の低いお子さんが接種する医療機関で一緒に接種できます。※接種には保護者の同意と立会いが必要です。※なお、ワクチンを接種した日や、副反応により学校を休んだ期間は欠席扱いにはなりません。

接種医療機関	年齢制限	日時
県立中央病院付属沼宮内地域診療センター	5歳から7歳まで	木曜日、金曜日 午後2時～4時
塚谷医院	8歳から11歳まで	月～水曜日、金曜日 午後2時～3時
さわやかクリニック	5歳から11歳まで	4月9日、5月7日 午前10時～11時

## 住民税非課税世帯や、収入がコロナ禍で減少した世帯へ 臨時特別給付金(1世帯10万円)を支給

臨時特別給付金コールセンター ☎0120-526-145  
町健康福祉課福祉支援係 ☎62-2111 (内線512、514)

臨時特別給付金(1世帯あたり10万円)は、住民税均等割非課税世帯や新型コロナウイルス感染症のため、家計に大きく影響のあった世帯を支援する新たな給付金です。給付金を受給するためには手続きが必要です。

### ・支給額

1世帯あたり10万円

### ・支給時期

申請書の提出から、3週間以内に指定口座に振り込まれます。(振込日：令和4年3月11日から週1回の頻度で振込予定)

### ・支給対象

#### ①世帯全員の令和3年度「住民税均等割が非課税」の世帯

町から確認書が届きますので、必要事項を記入して5月20日(金)までに返送してください。

#### ②令和3年1月以降の収入が減少し、「住民税非課税相当」の収入となった世帯

申請時点で住民登録のある市区町村に申請が必要です。(申請期間：令和4年4月1日～9月30日)(町役場や各地区公民館、社会福祉協議会に申請書を設置しています)

手続きや支給要件の詳細は町のホームページから確認できます



### 福祉タクシー助成券

## 在宅の重度障害者にタクシー助成券交付

町健康福祉課福祉支援係(役場1階6番窓口) ☎62-2111 (内線512、514)

町は、在宅で重度の障害があり、次の条件にあてはまる人にタクシーの助成券を交付しています。

【対象者】 町内に住所があり、身体障害者手帳1級～2級または療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳を持つ人 ※施設や特別支援学校の寄宿寮に入所・入寮している人、軽自動車税または自動車税の減免を受けている人は対象外です。

【助成内容】 1カ月に4枚の割合で申請月から年度末までの分を一括交付します。

【申請方法】 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳と印鑑を持参し、町健康福祉課福祉支援係で申請してください。

「まち・ひと きらり」では、きらりと光る町の出来事や輝く人々を紹介し、あなたの地域・職場での話題をお寄せください。

My Dream

私の夢  
No.390  
僕の夢



今松 真流飛さん(一方井小5年)

警察官になりたい

「地域の安全を守って、悪い人をたくさん捕まえる優しい警察官になりたい」と話す真流飛さん。放送委員会の委員長を務め、次の学年の手本になるよう、朝や昼の放送で明るい声を皆さんに届けます。真流飛さんは小学2年からホッケースポーツ少年団に所属し、懸命にコートを駆け抜けます。ホッケーの魅力は、仲間のみならず協力して、最後にゴールを決めること。6年生になったら、修学旅行に行くことが楽しみで「友達とまくら投げをしてみたい!」と元気いっぱいです。



お子さんの紹介  
なまえ(地区)  
保護者から一言

1歳児健診に来てくれたお子さんの  
かわいい笑顔を紹介します。



松村和樹さんの次男  
松村 洸希くん(下浮島)  
明るい、元気な子になってね。



田村智也さんの長男  
田村 優稀友くん(一方井)  
友達いっぱいできるといいね!



白旗美咲さんの長女  
白旗 礼佳ちゃん(芦田内)  
明るく、元気に育ってね!



武田和馬さんの長男  
武田 依都くん(上黒内)  
元気にすくすく大きくな~れ!

卒業式フォトアルバム

町内の小中学校卒業式の写真を紹介します。  
今月号「ヤング散歩」は都合によりお休みします。



沼宮内中の卒業証書授与式  
多くの保護者が訪れました



卒業証書を保護者へ手渡し  
安心した表情の川口小児童



川口中の卒業生が「群青」を合唱  
息の合った歌声を響かせました



卒業証書を受け取った沼宮内中生徒  
まっすぐ堂々と歩む姿を見せました



感謝を保護者に伝える川口小児童



アイルランド大使館講演会の講師ピーター・ニアリー  
駐日アイルランド大使館副代表が同国の魅力を紹介した



期間中に緑色の光に照らし出された石神の丘美術館  
来場者や国道4号を通るドライバーの目を楽しませた



アイリッシュシチュー  
フィッシュ&チップス

芳醇な香りのウイスキーやビールが店頭を並んだ  
▲道の駅「石神の丘」レストランではアイルランドにちなんだメニュー、産直では同国産のウイスキーや菓子などを販売

町は、3月5日から4月10日までアイリッシュフェスティバル2022を開催しました。東京2020オリンピックのホストタウンをきっかけに交流を深めているアイルランドの文化を広く知ってもらおうと企画されたこのイベント。石神の丘美術館では、企画展を開催し、町がこれまで取り組んできた同国との交流事業や町出身のオリンピック選手を紹介しました。

また、3月21日には、プラザあいでも同国の大使館講演会が行われ、ピーター・ニアリー氏がスライドでアイルランドの基本情報を紹介。その後アイリッシュダンス&ミュージック特別ステージでは、ダンサーの中川唯可さんが、TRAD(バンド)の生演奏で迫力ある舞いを披露。町内外から参加した60人は、アイルランドの文化を体感し、満足した様子でした。

Topic 01  
文化を体感し理解を深める  
アイリッシュフェスティバル



▲企画展「Hockey Town 君もオリンピック選手になれる!」では町の行ったアイルランドとの交流事業や町出身オリンピックを紹介



▲上半身を動かさず細かくステップを刻み床を鳴らすのが特徴のアイリッシュダンスを披露するダンサーの中川唯可さん(中央◎)

### 新 ○ミニランドセルを寄贈 1年生に交通安全の贈り物

白簾加代子さん(65)＝芦田内＝と町交通安全母の会連合会長の立花ひとみさん(64)＝子抱＝は3月28日、町教育委員会に手づくりのミニランドセルを寄贈しました。白簾さんは、新小学1年生に元気に安全に登校してほしいと思いを込め、撥水加工したクラフトバンドで作ったミニランドセルを80個贈呈。後日学校を通じて子どもたちへ配布されます。白簾さんは「ミニランドセルを身につけた子どもたちが、喜んでくれたらうれしい」と笑顔を見せました。



新小学1年生向けに色鮮やかなミニランドセルを寄贈した(左から)立花ひとみ町交通安全母の会連合会長と白簾加代子さん

### 地 ○沼宮内高と連携協定 地域共創人材の育成を進める

町と沼宮内高(熊谷賢児校長)の持続可能なまちづくりの実現に向けた地域共創人材育成の推進に関する連携協定締結式は3月30日、役場会議室で行われました。この協定は、今まで人材育成事業を行ってきた町と沼宮内高が相互に連携・協力し、町を活性化させる人材を育てることで持続可能なまちづくりを推進するというもので、高校と結んだ協定は初めて。今後、町は公営塾の運営や学校教育と連携した包括的な人材育成の取り組みを同校と協力して進めます。



沼宮内高の魅力化に向け連携を進めます



家族経営協定を締結した皆さん

### 家 ○家族経営協定締結者調印式 家族農業の働き方を整備する

町農業委員会(松本良子会長)は3月23日、役場会議室で家族経営協定締結者調印式を行い、4組の家族が農業経営の役割分担や労働時間、休日、福利厚生などの協定を結びました。この協定は家族一人一人が協力して農業を営めるよう、お互いの働き方を考え、農業経営を進めていく取り組み。平成8年の取り組み開始時から、95組延べ304人が協定を結んでおり、今回新たに4組の家族が協定を締結しました。また、4組の家族が協定の見直しを行い、再協定を結びました。



入賞した喜びの表情を見せる受賞者

### 達 ○県書写書道作品コンクール 筆競い2校10人が見事入賞

第50回県書写書道作品コンクールが2月8日に行われ、およそ43,000点の中から特別賞221点が優秀作品として選ばれ、町からは2校10人が入賞しました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)  
◇学校賞 一方井小、沼宮内小 ◇県市町村教育委員会協議会長賞 福士結衣(沼宮内小6年) ◇盛岡市長賞 柴田優桜(沼宮内小2年) ◇吉丸正夫賞 福士結衣(沼宮内小6年) 府金陽凛(沼宮内小6年) ◇県書写書道教育研究協議会長賞 川向祐生(沼宮内小3年) 三浦聖愛(一方井小3年) 田中悠菜(一方井小5年) ◇県芸術文化協会会長賞 山本澤音(一方井小3年) 三浦陽夏梨(沼宮内小3年) ◇若手日報社賞 山本希咲(沼宮内小3年)

### ホ ○沼宮内公民館「成人事業」 ッとする健康レシピで交流

沼宮内公民館(福士悟分館長)では2月25日、成人学級「食生活改善推進員協議会考案オリジナル健康レシピを食卓に届けよう!」を開催しました。参加者9人は町食生活改善推進員の指導の下、町産野菜をたっぷり使った3色ひつつみやサラダなど3つのレシピを学びながら、和気あいあいと調理。参加者同士で交流を深めました。講師の大畑冷子さん(72)＝駅前＝は「楽しく料理をして、おいしくいただくことは、心を豊かにすることにつながる」と参加者へ食を囲むことの楽しさを伝えました。



野菜を豊富に取り入れた3色ひつつみを調理する参加者の皆さん

### 選 ○明るい選挙啓発授業 選挙の大切さ、学び理解深める

町選挙管理委員会(府金邦忠委員長)と県選挙管理委員会は沼宮内高等学校で「明るい選挙啓発授業」を行いました。将来の有権者となる高校生に、政治や選挙の意義や重要性を知ってもらうことを目的に行われたこの授業。2年生41人はスライドや選挙クイズを通して選挙の役割や歴史、若年層の投票率が低い理由についてグループワークを通じて学びました。また、模擬投票体験も行われ、三浦京登さん(2年)は「候補者の公約を理解して投票することが大切」と投票の大切さへの理解を深めました。



選挙の仕組みを体験し

### 志 ○沼宮内中「立志式」 高く、十五歳の決意を語る

沼宮内中学校(箱石順一郎校長、生徒152人)の立志式は2月25日に行われ、2年生57人が堂々と立志の誓いを発表しました。この立志式は古来の元服にちなんで数え年15歳を祝い、自分の生き方を考え、目標(志)を立て、自立した大人になるための同校の伝統行事。生徒は、家族や周囲の支えてくれた人への感謝の思いや将来に向けての決意を胸に目標を掲げました。高橋正之祐さん(2年)は「自分の目標を堂々と発表出来たので、将来に向けて良い経験になった」と力強く話しました。



堂々と志を発表した2年の岩崎聖さん



この協定によりICTを活用した地域課題の解決と町の活性化が期待される

### 情 ○NTTとICT活用連携協定 報通信活用へNTTと協定

町及び東日本電信電話株式会社とのICTの活用による地域活性化に向けた連携に関する協定締結式は、町情報推進委員会補佐官の高嶋裕一県立大教授立会いの下で3月28日、役場会議室で行われました。この協定は、町とNTT東日本岩手支店(片岡千夏支店長)が相互に連携・協力し、活力ある町を目指し、ICT(情報通信技術)を活用した地域課題の解決及び地域の活性化を図ることが目的。この連携を通じて、農業などの産業活性化や町の地域情報化の一層の進展が期待されます。



# 医療

**休日当番医** 【受付時間】 9:00～17:00

4月

日(曜)	当番医
3(日)	佐渡医院
10(日)	塚谷医院
17(日)	さわやかクリニック
24(日)	北上脳神経外科クリニック
29(金)	佐藤整形外科クリニック

5月

日(曜)	当番医
1(日)	沼宮内地域診療センター
3(火)	岩手沼宮内クリニック
4(水)	佐々木医院
5(木)	佐渡医院
8(日)	塚谷医院

当番医実施医療機関の電話番号

- 岩手沼宮内クリニック ☎61-2025
- 北上脳神経外科クリニック ☎61-3636
- 佐々木医院 ☎62-2234
- 佐藤整形外科クリニック ☎68-7240
- 佐渡医院 ☎62-3211
- さわやかクリニック ☎62-2043
- 塚谷医院 ☎62-1155
- 沼宮内地域診療センター ☎62-2511

県立中央病院附属  
**沼宮内地域診療センター**

診療科	診療日	受付時間
内科	月～金曜日	8:30～11:30
外科		
<b>応援診療科(4月)</b>		
脳神経外科 ※要予約	12日	8:30～11:00
循環器(内科) ※要予約	1、4、8、11、15、18、22、25日	12:30～14:30
小児科	8、22日	13:00～16:00
皮膚科	12、26日	13:00～15:30
整形外科	15日	8:30～11:00

※休日当番医、応援診療科は予定を変更する場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。

# 子どもが急病のとき

## こども救急相談電話

【受付時間】 午後7時～11時(年中無休)  
【電話番号】 局番なしの☎#8000 ※ダイヤル回線電話、IP電話(ひかり電話)、PHSからは☎019-605-9000

## 診療時間外の受診

■軽い病気と思われる場合、休日の日中は休日当番医を利用ください。夜間は平日、休日問わず夜間急患診療所を利用ください。  
▽盛岡市夜間急患診療所 受付時間：午後7時～11時 (盛岡市神明町3-29盛岡市保健所2階 ☎019-654-1080)  
日中の診療時間に受診できる人は、なるべく日中の時間内に受診しましょう。

### ■症状が重い場合

【受診場所】 小児救急入院受入当番病院(下記予定表のとおり)  
【対象】 症状が重く入院が必要と思われる子どもと、盛岡市夜間急患診療所や休日当番医が診療していない時間帯の急病の子どもを受け入れます。夜間は午後5時から翌朝9時までです。

日	月	火	水	木	金	土
					4/1 日赤	2 中央
3 国立	4 日赤	5 中央	6 国立	7 日赤	8 国立	9 中央
10 日赤	11 中央	12 日赤	13 国立	14 中央	15 中央	16 日赤
17 中央	18 日赤	19 中央	20 国立	21 中央	22 国立	23 中央
24 日赤	25 中央	26 中央	27 国立	28 日赤	29 国立	30 中央



左のQRコードからも  
当番病院を確認できます

【受付時間】 土曜は午後1時～5時、夜間は午後5時～翌朝9時  
【注意】 日中の診療時間に受診できる人は、時間内に受診してください。また、重症な子どもの治療に支障をきたさないよう、まずは盛岡市夜間急患診療所を受診しましょう。  
日曜、祝日の日中は休日当番医を受診してください。

### ■当番病院の連絡先

【中央】 県立中央病院 ☎019-653-1151  
【日赤】 盛岡赤十字病院 ☎019-637-3111  
【国立】 国立病院盛岡医療センター ☎019-647-2195

## 一人で悩まず相談ください

町傾聴ボランティア 【開催日】 4月11日、25日、5月9日  
「おひさまサロン」 毎月第2、第4月曜日(祝日の場合翌日)  
※予約不要です。日頃の思いを話してみませんか? 【時間】 午後1時～3時  
【場所】 プラザあい1階  
▶役場健康福祉課 ☎62-2111 (内線564)

▶盛岡いのちの電話 ☎019-654-7575 (正午～午後9時、日曜日のみ午後6時まで) ▶県精神保健福祉センター ☎019-622-6955 (午前9時～午後6時)

▶男女共同参画センター相談室 ☎019-606-1762  
家族、職場の悩み、交際相手や性別、性指向(LGBT)に関する悩みなどの相談を受け付けています。

健やかで健康を送るために迷わず受けよう  
**特定健診を行っていただきます!**

検診は毎年受けましょう

生活習慣病は、長年の不適切な習慣の蓄積が原因で起こります。特定健診は、生活習慣病の予防と早期発見を目的に行われる、年1回の健康診査です。去年異常がなかったという人も、健診は毎年受けることが大切です。健診結果から、体の中で起きていることを「見える化」することで、病気のリスクをいち早く察知できます。健康は病気を治療して保つのではなく、予防することが第一です。

### がん検診も忘れずに

2人に1人が、一生のうち「がん」にかかるといわれています。がん検診は、まだ何の症状もなく、健康と自覚している人を対象に、特定の病気そのものを早期に見出し、早期に治療することを目的に行います。町の健診を、ご自身の健康のためにご利用ください。

## 令和4年度 健診(検診)の内容

実施時期	種類	対象者	検査内容
4月	特定健康診査 または健康診査	①40歳～74歳の町国民健康保険加入者 ②後期高齢者医療制度の加入者 ③40歳以上の生活保護受給者 ※職場健診受診者、人間ドック受診者は除きます	身体計測、血液検査 尿検査、心電図検査など
	生活習慣病予防健診	35歳～39歳の人	血液検査
	肝炎ウイルス検診	40歳～74歳で過去に肝炎ウイルス検診を受診したことがない人	同上
	前立腺がん検診	50歳以上の男性	同上
5月	乳がん検診	40歳以上の女性で、昨年町の検診を受けていない人(2年に1回)	マンモグラフィ
5～6月	胃がん検診	40歳以上の人	胃のエックス線検査
	肺がん・結核検診	40歳以上の人(結核検診は65歳以上)	胸部エックス線検査
	大腸がん検診	40歳以上の人	採便
7～9月	子宮頸がん検診	20歳以上の女性で、昨年町の健診を受けていない人(2年に1回)	細胞診 卵巣腫瘍検査など

### 受検票の発行

令和4年度健診の申し込みをした人へ、地区の保健推進員が受検票を渡しています。希望する人に受検票を随時発行しますので、健康福祉課までお問い合わせください。



## 幼児のおたふくかぜ発症を防ぐ おたふくかぜ予防接種の一部助成

問 健康福祉課健康推進係(1階⑤番窓口)  
☎62-2111 (内線556)

町は、おたふくかぜの発症や重症化防止のため「おたふくかぜ予防接種費」の一部を助成します。

【対象者】 町内に住所があり、4月以降に医療機関でおたふくかぜワクチンを接種した満1歳から小学校就学前の幼児の保護者  
※医療機関の指定はありません。

【助成金・回数】 5,000円(1人1回限り)

【申請方法】 接種後に役場健康福祉課健康推進係(1階⑤番窓口)へ申請

### 【申請に必要なもの】

- ①おたふくかぜ予防接種費助成申請書兼請求書
- ②印鑑
- ③申請者の通帳番号の分かるもの
- ④領収書(ワクチン接種費用が分かるもの)
- ⑤予防接種済証または母子健康手帳の写し

【申請期限】 令和5年3月31日(令和4年度分)

【その他】 予防接種により健康被害を受けた場合は、「医薬品 副作用被害救済制度」に基づく救済の対象になります。

# 写真撮影をお手伝いしました！ ～いわてまちイルミネーション「冬の花畑」～

町の地域おこし協力隊が毎月、岩手町の魅力をお伝えします。



ラベンダー畑をイメージした会場は幻想的な風景が広がりました

こんにちは！地域おこし協力隊「しごとクリエイター」の老松弘行です。2月3日から13日まで行われた、いわてまちイルミネーション2022「冬の花畑」に参加させていただきました。会場はラベンダー畑をイメージした紫色が一面に広がり、とてもムードがあって幻想的。私は去年に引き続き、大きなリースがあるフォトスペースで、来場されたお客様のスマートフォンをお借りし、記念写真撮影のお手伝いをしました。家族連れはもちろんのこと、ワンちゃんと一緒に来られた方、時代を感じるユークチューバーの方など、

町内外からたくさんのお客様が訪れ、とても賑わっていました。また今回、カップルの方々が非常に多く来られている印象を受けました。さすが「恋人の聖地」ですね！イルミネーションの中で、それぞれ思い思いに写真映えする場所を探しつつ、楽しそうに撮影している姿を見ると、心が癒され優しい気持ちになりました。また、撮影中は、いろいろな方から「寒い中、お疲れ様です！」など温かい言葉をたくさんかけていただきました。氷点下の会場ではありましたが、皆さん心を温かくして会場を後にしていました。

Vol. 50

地域おこし協力隊の



## じかん

KOBIRUじかんの「こびる」とは、「農作業の合間の休憩、軽食」の意味。農作業の休憩時間に、気軽に読んでほしいと思いを込めたコーナーです。



今月は、老松が担当します。

町のSNSフォローをお願いします！



# 図書館だより

開館時間 午前9時～午後6時

町立図書館 ☎62-2877

## 新着図書



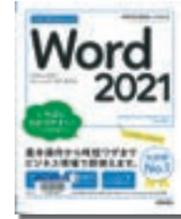
名著の話



日本人とエベレスト



3・4・5歳児  
せいさくあそび  
120



今すぐ使える  
かんたんWord2021

ジャンル	書名	著者
小説	奇跡	林 真理子
	タラント	角田 光代
	オオルリ流星群	伊与原 新
	チェレンコフの眠り	一條 次郎
	ブラック・ムーン	逢坂 剛
エッセイ	奏鳴曲	海堂 尊
	ないものねだるな	阿川 佐和子
児童絵本	はなちゃんのみそ汁 青春篇	安武 信吾
	だいじょうぶかないちねんせい	うめだ ちづる
	ラーメンのおうさま	山本 祐司
児童読み物	あぶないときはいやです、だめです、いきません	石塚 ワカメ
	かくれんぼべんとう	相野谷 由起
児童実用書	科学探偵VS.ミステリートレイン	佐東 みどり
	ほじょりん工場のすまこちゃん	安井 寿磨子
	食品ロス「もったいない」をみんなで考える1	島本 美由紀：監修
	ガチャガチャ・クレーンゲームをつくろう	いしかわ まりこ

4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7

赤マスの日は休館日です。  
蔵書点検のため、4月19日～22日は休館します。

## 図書館の行事

本のこうかん市  
4月1日(金)～30日(土)  
チビッコ映画館(小学生向け)  
4月14日(木)、28日(木)  
両日とも午後3時30分～  
おはなし会(小学校就学前の親子)  
4月24日(日) 午前11時～  
ボランティア「おはなし☆きらきら」  
の皆さんが読み聞かせをします。

# まちの文芸

## 短歌

立春の窓辺に置きしセラニウム新芽の  
見えて咲くを待ちをり  
愛木タエ子

ほのぼのと明けゆく空に目をやれば霞た  
なびき春の兆しが  
伊藤 一陽

雪の夜に糖漬持ちて友来たり夫は喜び雪  
掻きはげむ  
岩館 カツ

岩手山落暉に雪を吹きあげて寒さきびし  
き冬過ぎむとす  
昆野 功夫

大雪に群れて白鳥天仰ぐいくさを嘆き悲  
槍の叫び  
志田 悦朗

しづる雪背に受け登る鞍掛の山静まりて  
空曇りゆく  
瀬川 浩美

わが腕に文九十四年の命尽きあの日も凍  
れてはや三十年  
高橋 糸

刺子する静かなひととき楽しくて歌口ず  
さみ春を待ちをり  
橋本 智代

雪しづる微かな春のおとづれに庭木の芽  
吹き撥ねてあらはる  
山口 國男

## 俳句

三月や苗射し入る将棋盤  
伊藤 一陽

雪解けて峡の熊笹躍り起つ  
遠藤 金作

カーラジオどんぱん節や春が来た  
遠藤 初枝

堰越して流れ下るる雪濁  
昆野 功夫

五十集では真鱈の味に群がれり  
志田 悦朗

落味噌の一品増やし孤食膳  
向井 梅子

汀子先生逝く  
山口 國男

二三言師と語らひぬ春の夢

## 川柳

題詠「笑う」 鍋倉るみこ 選

〈入選作〉

ひたいにあるメガネ捜して笑いあう  
佐藤 小草

マスクごし笑って笑ってハイチーズ  
土橋はつお

笑うしかない茶飯事の物忘れ  
山口 國男

笑ってなお悲しみ残る胸の内  
久慈 正和

笑う日はいつ来るだろう拉致家族  
馬淵 草

児のわらい家族みんなを笑いにし  
自 句

2月受け付け分

●お婿さん、お嫁さん● 0組 (1組)

●生まれたお子さん● 0人 (0人)

●亡くなられた人● 11人 (20人)

▼2月

日	お名前(年齢)	世帯主	行政区
4	岩井 達二 (90)	マイ子	大 股
4	福澤 ミサヲ (85)	本 人	尾 呂 部
6	久保 シヅエ (85)	本 人	石 神
8	丹内 清 (97)	剛	黒 石
11	太田代 ヨシ (86)	本 人	上五日市
12	佐々木 勝男 (84)	本 人	水 堀
16	丹内 政光 (77)	本 人	犬 袋
20	佐藤 福子 (80)	末 治	民 部 田
22	齋藤 好太郎 (84)	本 人	橋 場
22	武山 フミ (91)	本 人	新愛宕下
26	平野 オワリ (93)	本 人	新愛宕下

組数、人数の( )内は実数です。  
町内に住所がある人で、広報に掲載を希望する人のみ掲載しています。掲載希望の有無は、届け出の際に役場町民課にお話してください。

人口の動き

令和4年2月28日現在

人 口	12,386人	前月比 (-23)
世帯数	5,369世帯	(-1)
男	6,037人	(-11)
女	6,349人	(-12)

▼出生0人 ▼死亡20人 ▼外国人住民107人  
▼転入14人 ▼転出17人

# 4月 町民カレンダー

日(曜)	時 間	行 事	場 所
	9:00～	【企画展】 Hockey Town ホッケーの町・君もオリンピック選手になれる! (~4月10日)	石神の丘美術館
6 (水)	13:30～	沼宮内中入学式	沼宮内中
	14:00～	一方井中入学式	一方井中
7 (木)	10:00～	沼宮内小、川口小、一方井小入学式	各小学校
	13:15～	川口中入学式	川口中
10(日)	9:00～	町スポーツ少年団結団式	森のアリーナ
20(水)	9:00～	人権・行政相談	沼宮内公民館
	10:00～	盛岡年金事務所出張相談 (要予約: 盛岡年金事務所 ☎019-623-6211)	ゆはず交流館
21(木)	8:30～	まんまと湯っこの会	町老人福祉センター
26(火)	9:30～	離乳食教室	町保健センター
	9:00～	第6回グランドゴルフ大会	町総合グラウンド
27(水)	13:00～	6カ月児健康診査 (令和3年10月生まれ) 9カ月児健康診査 (令和3年7月生まれ) 1歳児健康診査 (令和3年4月生まれ)	町保健センター
28(木)	10:00～	子育てサロン “すくすく”	町保健センター
29(金)	9:00～	第42回IBC杯ホッケー大会	町ホッケー場

◆ 町税などの納付期限 ◆

固定資産税 (1期)

5月2日 (月)  
口座振替日: 4月25日(月)

# 5月

いってまち 次号は5月6日(金)発行予定

本紙は原則、毎月第1木曜日に発行していますが、次号は大型連休のため、5月6日(金)の発行となります。ご了承ください。

日(曜)	時 間	行 事	場 所
3 (火)	9:00～	第42回IBC杯ホッケー大会 (高校の部) (~5日まで)	町ホッケー場 町総合グラウンド
13(金)	9:30～	妊婦教室 (1回目) ※対象者には個別に通知しています	町保健センター

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、町ホームページや回覧などでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

# 情報

## インデックス

岩手町役場  
☎62-2111

問 問い合わせ先  
申 申し込み先

### 野焼きに注意

#### ■盛岡中央消防署岩手分署

空気が乾燥し、山火事が発生しやすい季節を迎えます。5月31日まで山火事予防運動期間です。次のことに注意し、山火事の予防に努めましょう。

・火災が起こりやすい枯れ草などがある場所では、たき火をしないこと

・たき火など、火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること

・強風時および乾燥時には、たき火や火入れをしないこと

・火入れを行う際は、許可を必ず受けること

問 盛岡中央消防署岩手分署  
☎62-6119

### 観光冊子の掲載店募集

#### ■情報誌アキュート

県盛岡広域振興局では、鹿角・盛岡広域エリアの観光パスポートに掲載する店舗を募集します。

【対象】 飲食店、観光関連施設

【掲載条件】 利用客への特典サービス(割引やプレゼント)の提供

【実施期間】 7月1日～11月3日

【申込締切】 4月30日(土)

問 盛岡タウン情報誌「アキュート」編集部 ☎019-651-2722

### 国民年金学生納付特例

#### ■盛岡年金事務所

学生で本人所得が一定以下の場合に、国民年金保険料の納付を猶予できます。

問 盛岡年金事務所 国民年金課 ☎019-623-6211

### 障がい者スポーツ大会

#### ■参加者募集

第24回岩手県障がい者スポーツ大会が開催されます。参加を希望する人は役場健康福祉課まで申し込みください。

【開催日】 6月4日(土)

※ポッチャ競技は5月15日(日)

【競技種目】 陸上、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ポッチャ

【会場】 県営運動公園、ふれあいランド岩手ほか

【参加対象】 県内在住の13歳以上の身体・知的・精神障がい者  
※満10歳以上はオープン区分で参加可能

【申込期限】 4月19日(火)まで

問・申 役場健康福祉課福祉支援係 ☎62-2111 (内線512)



沼宮内高の魅力、生徒の様子を紹介します!  
タイトル画 今松純也さん(卒業生) Vol. 6

### 冬季練習で体幹鍛える

ホッケー部(男子16人、女子7人)は3月4日、冬季期間に体の柔軟性を高めるトレーニングを行いました。講師は、理学療法士でPNFセラピストの高橋研介さん=北上市=。部員は、スクワットやストレッチなどを通じて、筋肉に負荷をかける運動を行い、体幹を鍛えました。これからの目標は夏のインターハイの上位入賞。室内練習にも熱が入ります。



スクワットに懸命に励む部員



柔軟の仕方を指導する高橋さん

## 沼高LIFE

### インタビュー

将来の夢を教えてください。

小学校の先生になりたいです。教わっている担任の先生は教え方が上手で、自分も同じように生徒に教えてみたいと思いました。今は勉強に力を入れています。

学校で頑張っていることや好きなことを教えてください。

休み時間に友達とゲームの話をするのが好きです。身体を動かすことも好きなので、体育の授業はバドミントンやバスケットボールが楽しいです。

沼高の魅力はどんなところですか?

進路相談に優しく乗ってくれるなど、先生とコミュニケーションが取りやすいところです。



しだれ かいせい 四垂 海惺さん (2年、川口中出身 卓球部)



沼高のホームページへアクセス!

# SDGs 未来都市のまち



## 多世代交流型の子ども食堂

皆さんは子ども食堂を知っていますか？

子ども食堂は、地域の皆さんが主体となって無料や低価格で子どもたちに食事を提供する場のことです。SDGsの目標の「貧困をなくそう」や「飢餓をゼロに」を達成するために大切な取り組みとして注目を集めています。

町は、貧困などに限定せず、誰もが気軽に参加できる取り組みとして、地域社会の中で子どもたちを見守り育てるために「地域の特徴・資源を活かした多世代交流型の子ども食堂モデルの構築」プロジェクトを推進しています。昨年11月には、一方井学童保育クラブを対象に、町食生活改善推進員協議会やプロサッカーチーム・いわてグルージャ盛岡の協力で、サッカー体験会や郷土料理を堪能するイベントを実施。子どもから大人まで、参加した皆さんが笑顔にあふれ、交流を深める素晴らしい機会となりました。老若男女問わず、地域の人と人とのつながりを感じながら、食を通じた交流の場を体験することで、地域への感謝の思いや郷土愛がはぐくまれます。子どもは地域の宝。家族だけでなく、学校や地



①いわてグルージャ盛岡の皆さんと参加した子どもたち  
今後、各地域でのイベント開催に向けて準備を進めます  
②みそばさみとがんづきを振る舞う町食生活改善推進員

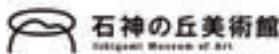
域を含むさまざまな環境が子どもたちを育てることは、今も昔も変わらない大切な日本の文化です。

町では今後、各地域で子ども食堂の取り組みを拡大していこうと計画しています。このプロジェクトに賛同していただける人、一緒に活動に参加してくれる人も大歓迎。町の子どものための未来のために、力を貸していただける人は、役場みらい創造課まで問い合わせください。

このコーナーへのお問い合わせ

問 みらい創造課政策推進係 ☎ 62-2111 (内線 218、219)

岩手町SDGs  
未来都市  
共創プロジェクト



## 全館休館のお知らせ / 4月下旬からは春の花が楽しめます

石神の丘美術館は、4月11日(月)から22日(金)まで、〈花とアートの森〉メンテナンス、企画ギャラリー展示替えのため全館休館します。4月23日(土)より〈花とアートの森〉は夏期料金で開館します。



## 編集後記

春の陽気と穏やかな朝の日差しで目が覚めることが増え、新年度が始まりました。まさに光陰矢のごとし！月日が経つのは、あっという間ですね。取材に伺った先々で、「広報を読んでもう！」「前月の表紙は良かったね！」と声をかけてもらうことが増えました。私は人見知りがかちなもので、少しでも話しかけてもらえるとうれしいです。▼振り返るとウクライナ情勢の報道や大きな地震の影響で東北新幹線が運休、そして電力逼迫情報。地震も断続的にあり、なんとなく気が休まらなかった3月でした。▼先日、自宅部屋の模様替えに着手し、机を買い換えました。これを機に、長らく本棚に積んでおいたばかりの読書も少しはかどってくればよいのですが。買ったものが満足しないようにした

広報いわてまちは、『記者ハンドブック新聞用字用語集第13版』に基づいて記事を作成しています。原則、よるこびかなしみコーナー以外は常用漢字を使用しています。氏名などを掲載する場合も、常用漢字での掲載となります。ご理解をよろしく願います。